

2014

2014.9 MINI DISCLOSURE

ミニディスクロージャー誌

第144期 営業の中間ご報告

平成26年4月1日 ▶ 平成26年9月30日



企業理念

1

お客様第一主義に徹し、最適の金融サービスを提供します

私たちは、お取引先、株主様をはじめとしたお客様が、当行に対して何を望み何を期待しておられるのかを的確につかみ、その期待に十分お応えするため、個々のお客様にふさわしい最適な金融サービスの提供を目指します。

2

企業倫理を遵守し、豊かな地域社会の実現に積極的に貢献します

私たちは、社会における当行の使命と役割を十分認識し、基本常識に沿って、高い倫理感を持って行動します。そして、地域とともに歩む金融機関として、地域社会の真の発展に貢献できる銀行を目指します。

3

創造性に富み、自由闊達で人間尊重の企業文化を確立します

私たちは、常に新鮮な目で仕事を見つめ、自らの創意工夫で主体的に仕事にチャレンジする雰囲気を職場全体に広げ、コミュニケーションが行き届いた風通しのよい企業文化を育んでいきます。そして、活気にあふれた新しい企業イメージを形成していきます。

contents

トップメッセージ	1	地域貢献への取り組み	10
第五次中期経営計画	2	単体財務諸表	12
業績ハイライト(単体)	3	連結財務諸表	14
当行の商品・サービスのご案内	6	当行の概要・株式のご案内	16
地域経済活性化への取り組み	9	株主メモ	17

さらなる地域経済の発展と地域社会への貢献を目指して



取締役頭取 甲斐隆博

平素より格別のご愛顧を賜り、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

当行に対するご理解を一層深めていただくため、ミニディスクロージャー誌を作
成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、当上半期の国内経済は、個人消費や住宅投資など、一部に消費税率引き
上げに伴う駆け込み需要の反動が見られましたが、企業収益の改善に伴う設備投
資の緩やかな増加や、公共投資が高い水準で横ばいに推移するなど、基調的には
緩やかな回復を続けました。

一方、県内経済も、国内経済同様、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反
動が見られましたが、その動きは徐々に和らぎつつあり、県内製造業の生産の緩
やかな回復や雇用・所得環境が徐々に改善に向かうなど、基調的には緩やかな回
復を続けました。

金融面では、期初14千円台後半で始まった日経平均株価は、4月に一時14千
円を割り込みましたが、徐々に上昇を続け、9月には16千円台前半まで上昇いた
しました。

以上のような経済環境の中で、当行ではお客様の多様化するニーズに対して最
適な金融サービスの提供に努めました結果、別項記載のと通りの業績を収めるこ
とができました。これもひとえに皆様方のあたたかいご支援の賜物と心から感謝
申し上げます。

本年度は、「お客様と^{とも}に価値共創⇨最適な金融サービスの提供」をテーマと
する「第五次中期経営計画第2フェーズ」の最終年度であり、総仕上げの年であり
ます。私ども役職員一同、総合的に地域貢献する銀行グループを目指し、皆様方
のご期待にお応えできるよう、格段の努力をいたす所存でございます。

今後とも何卒倍旧のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年11月

第五次中期経営計画

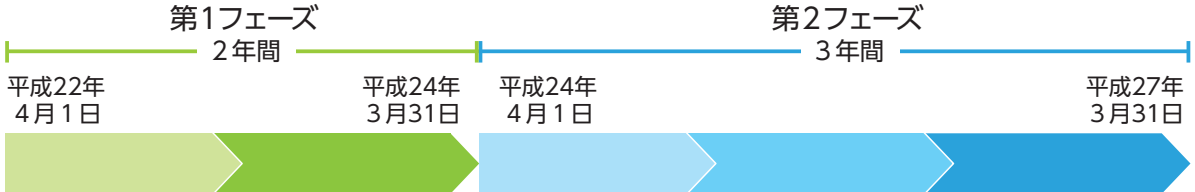
金融機関を取り巻く環境が依然として厳しい状況下、当行では、お客様起点の現場・現実の課題への適時・適切な対応を徹底し、お客様のお役に立ち、信頼関係をより強固なものにすることが、一段と重要であると考えております。

このような認識のもと、当行では、平成24年4月より「お客様と伴に価値共創⇔最適な金融サービスの提供」をテーマとする「第五次中期経営計画第2フェーズ」に取り組んでおります。お客様に当行グループが保有する多様な金融機能やサービス等をご利用いただくことで、お客様ご自身の価値を高めていただくとともに、当行グループの企業価値を向上してまいります。

第2フェーズのテーマ 「お客様と伴に価値共創⇔最適な金融サービスの提供」

お客様のニーズを踏まえた最適な金融サービスをご提供し、お客様と当行が「価値」を創造することにより、質的にレベルアップした「お客様第一主義」の実現を図るものです。

計画期間 平成22年4月1日から平成27年3月31日までの5年間



- 1 県内マーケットの徹底した調査・深耕により成長基盤の礎を再構築
- 2 環境適応に向け進化した人材と ICAT(※)により総合的に地域貢献する銀行グループを実現

※ ICATとは、次の3つのスキルを意味しております。
 (1)「IT」：コンピュータ・システム、ネットワーク・システムに関する能力
 (2)「CT」：コミュニケーションに関する能力
 (3)「AT」：会計、分析および説明に関する能力(Account, Analysis & Accountability Technology)

基本方針

- 1 健全かつ強靱な経営体質の戦略的向上
資産や人材の健全性をベースとした収益の確保に努めます。
- 2 地元のお客様との稠密な取引の拡大・深化
当行のすべての金融商品をご利用いただくため、お客様との取引の拡大・深化に取り組みます。
- 3 主体的で創造性豊かな人材の育成
主体性のある思考、行動管理が出来る人材を育成してまいります。

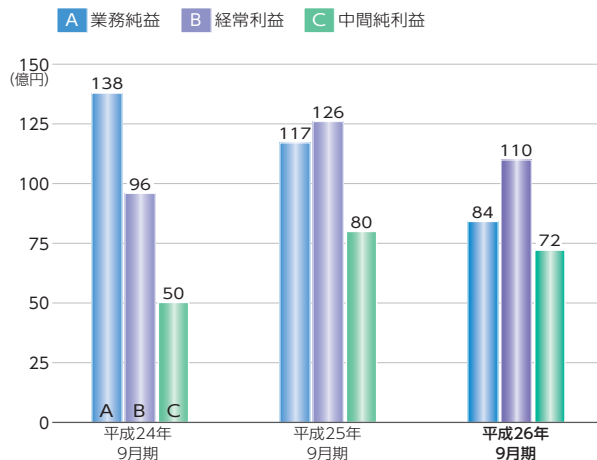
業績ハイライト (単体)

収益の推移

業務純益は、業務粗利益の減少に加え、一般貸倒引当金繰入額が増加したこと等により前中間期比32億円減少し、84億円となりました。

経常利益は、不良債権処理額は改善したものの業務純益の減少等により、前中間期比16億円減少の110億円となりました。

中間純利益は、前中間期比8億円減少の72億円となりました。

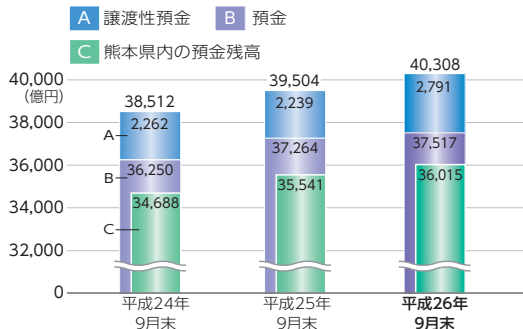


預金等の推移

預金は前中間期末比252億円増加し、3兆7,517億円（増加率0.7%）となりました。

また、譲渡性預金の中間期末残高は2,791億円となりました。その結果、預金等（譲渡性預金含む）は、前中間期末比804億円増加し、4兆308億円（増加率2.0%）となりました。

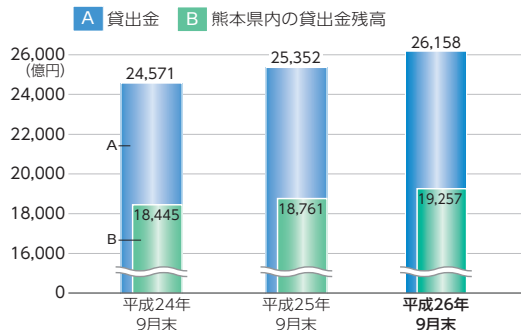
なお、熊本県内の預金残高は、前中間期末比473億円増加し、3兆6,015億円（増加率1.3%）となりました。



貸出金の推移

貸出金は、前中間期末比805億円増加し、2兆6,158億円（増加率3.2%）となりました。

なお、熊本県内の貸出金残高は、前中間期末比495億円増加し、1兆9,257億円（増加率2.6%）となりました。



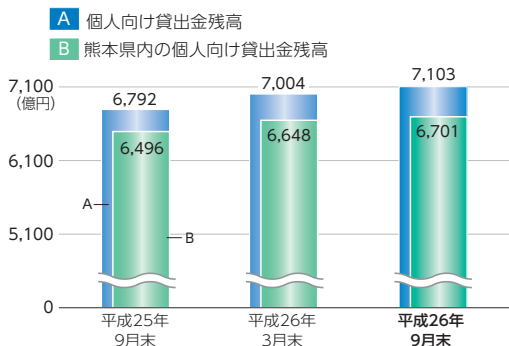
業績ハイライト (単体)

地域のお客様へのご融資

個人向け貸出金残高、貸出金比率 (含む住宅ローン)

個人向け貸出金残高は前中間期末比310億円増加し、7,103億円となり、貸出金残高に占める個人向け貸出金比率は27.2%となりました。

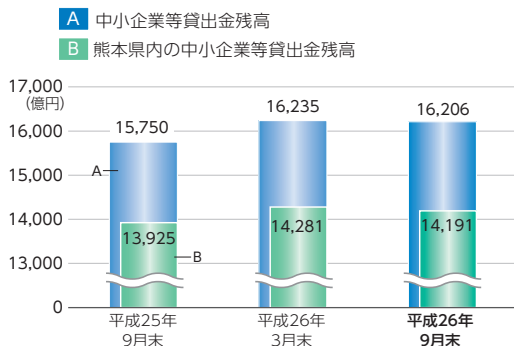
このうち、熊本県内の個人向け貸出金残高は前中間期末比204億円増加し、6,701億円となり、熊本県内の貸出金残高に占める個人向け貸出金比率は34.8%となりました。



中小企業等貸出業務の状況

中小企業等貸出金残高は1兆6,206億円、貸出先数は158,061先、総貸出金残高に占める中小企業等貸出金比率は62.0%となっております。

このうち、熊本県内の中小企業等貸出金残高は1兆4,191億円、貸出先数は154,272先、熊本県全体の貸出金残高に占める中小企業等貸出金比率は73.7%となっております。



当行の健全性

自己資本比率 (平成26年9月末)

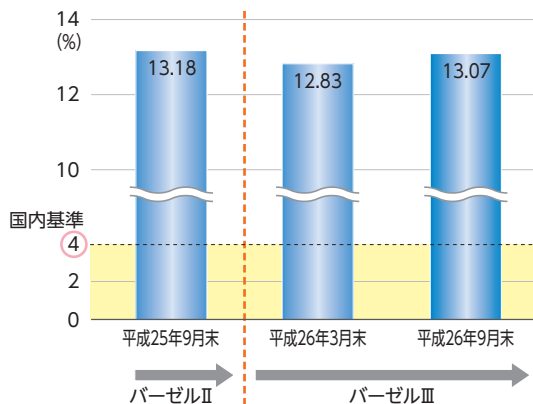
国内基準4%を大きく上回っております

13.07% (国内基準、単体)

自己資本比率は平成26年3月末より新しい自己資本比率基準 (バーゼルⅢ) に基づいて算出しております。

〈参考〉連 結	
自 己 資 本 比 率	13.16%

自己資本比率(単体)の内訳 (国内基準)

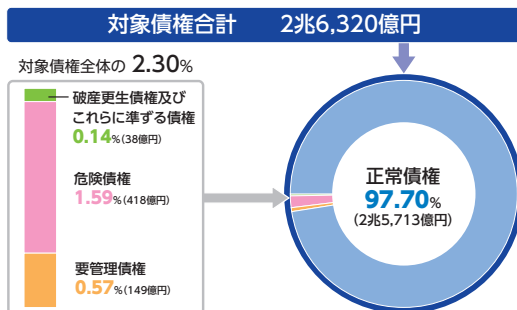


不良債権等の状況 (平成26年9月末)

不良債権の少ない健全な銀行です

金融再生法の開示における不良債権は606億円で、対象債権合計に対する比率は2.30%と全国の地方銀行の中でも低い水準にあります。また、これらの債権については、担保・保証や貸倒引当金で85.07%をカバーしており、十分な保全を行っております。なお、子会社及び関連会社を合算した連結ベースでの不良債権は627億円で、対象債権合計に対する比率は2.36%となります。

金融再生法開示債権の残高・比率



金融再生法開示債権の保全状況(単体)

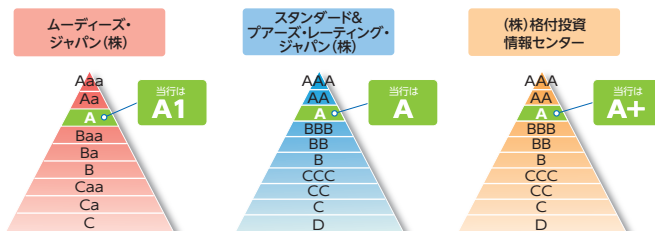
(単位:億円)

	与信残高	担保・保証による 保全額	貸倒引当金	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	38	25	13	100.00%
危険債権	418	281	98	90.67%
要管理債権	149	63	34	65.52%
小 計	606	369	146	85.07%
正常債権	25,713			
合 計	26,320			

格付け (長期格付け: 平成26年9月末)

上位ランクの「A」以上を取得しております

「格付け」は企業の信用度や債務履行の確実性等を客観的に表わすものです。当行は堅実で安全性の高い経営内容が評価され、格付機関3社からいずれも「A」格の高い評価を受けております。



有価証券評価損益 (平成26年9月末)

有価証券評価損益は653億円の評価益を有しております

平成26年9月末の株式・債券等の有価証券評価益は、653億円と、平成26年3月末に比べ、62億円増加しました。

有価証券評価損益 (単位:億円)

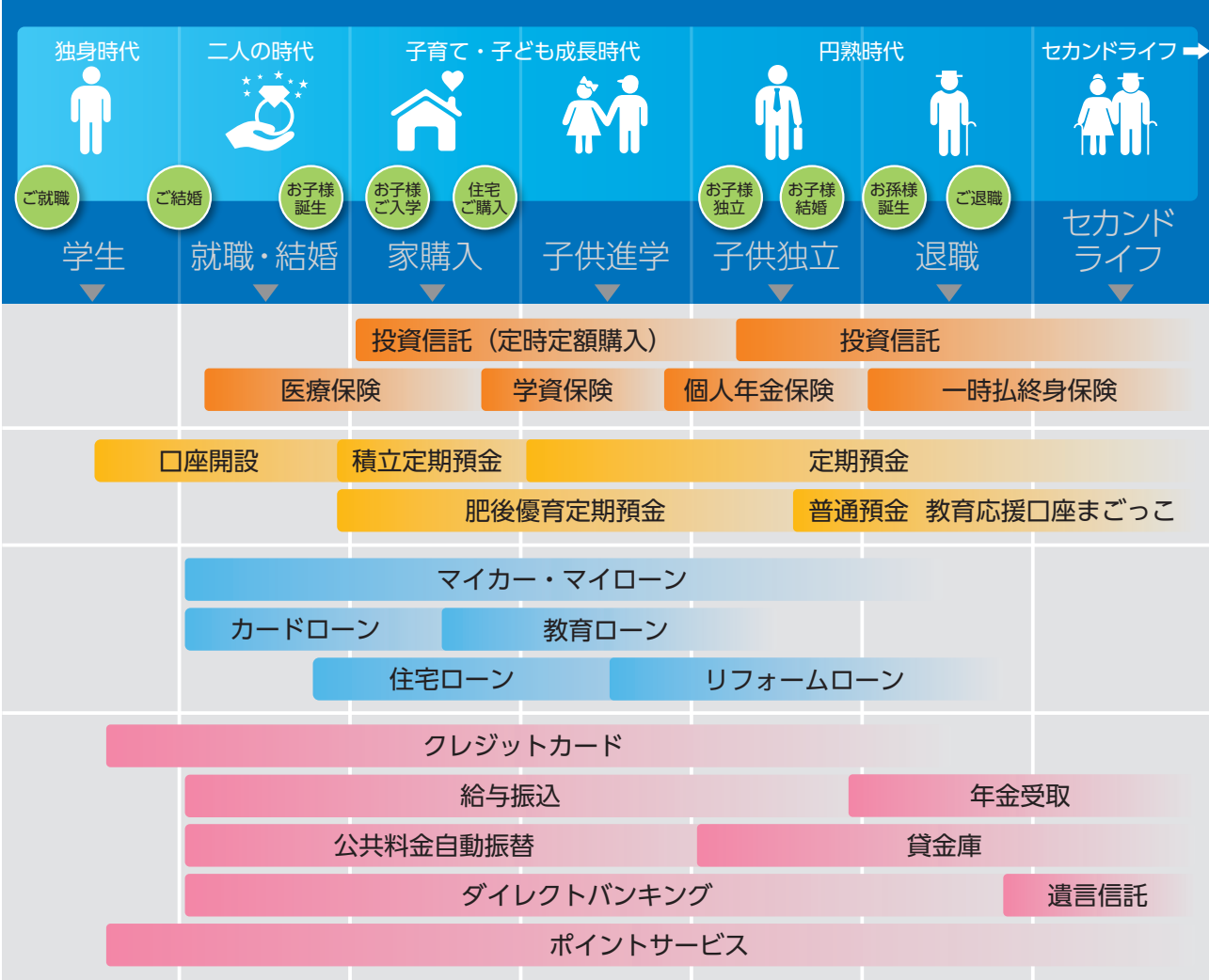
	評価損益
満期保有目的の債券	0
その他有価証券	653
株 式	244
債 券	350
そ の 他	58
合 計	653

当行の商品・サービスのご案内

ライフステージと肥後銀行の商品ラインナップ

ライフステージ

当行ではお客様のご就職、ご結婚、お子様の誕生など、さまざまなライフステージに合わせた商品・サービスの提供に努めています。



商品のご案内

各種預金、ローン、ご融資、運用商品など、
お客様のニーズに合ったご提案ができる商品を取り揃えております。

普通預金 教育応援口座まごっこ

「普通預金 教育応援口座まごっこ」は「教育資金の一括贈与に係る贈与税の非課税措置」の適用商品です。平成27年12月30日までに祖父母さま等からお孫さま等へ教育資金（最大1,500万円まで）を一括贈与される場合の贈与税が非課税となります。

この商品は、お孫さま等への想いを形にできる商品です。詳細につきましては、各営業店またはフィナンシャルプラザにお尋ねください。



クレジットカード一体型キャッシュカード「ハモニカ・エクステージ」

キャッシュカード機能とクレジットカード機能（JCB）が一体となった生体認証機能付ICキャッシュカード「ハモニカ」に、若年層向け新ラインナップ「ハモニカ・エクステージ」を追加いたしました。従来の特典に加え、「年会費無料（入会後5年間）」「JCB Oki Dokiポイント3倍（入会後3ヵ月）」の特典がございます。カードデザインは「くまモン」イラスト入りで、赤・白の2種類からお選びいただけます。

詳細につきましては、各営業店にお尋ねください。



肥後銀行WEBカードローン

パソコンやスマートフォン、携帯電話を利用して、お申込からご契約までお手続きいただけるカードローンです。インターネットを利用したお手続きとなるため、お申込書の記入やご来店の必要がなく、24時間のお申込が可能です。

※当行の普通預金口座をお持ちのお客様が対象です。本人確認手续がお済みでない場合や住所変更等のお手続きが必要な場合は、お申込手続後、ご来店いただく場合がございます。



店舗・ATMのご案内

熊本県内に111店舗、熊本県外に11店舗のほか、上海に駐在員事務所を配置しています。

お客様により便利にご利用いただけるよう、新築店舗には、広い駐車場やカード式電動貸金庫（生体認証機能つき）を設置しております。

ATMサービスにつきましては、365日稼働の当行ATMのほか、セブン銀行、ローソン、ファミリーマートなどのコンビニATMもご利用いただけます。また、九州地銀10行間相互のATM手数料を無料（※）にてご利用いただけます。

※北九州銀行およびコンビニATMを除く／時間外・土日祝日は108円

当行の商品・サービスのご案内

● 専門スタッフによるご相談対応

当行では、個人ローンや資産運用のご相談をお受けする専門スタッフを下記拠点に配置しています。土・日曜日も営業しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。また、事業を営まれているお客様の事業資金のご相談やお借入れのお申し込み受付、各種情報のご提供を行う専門窓口も設置しております。

フィナンシャルプラザ

専門のスタッフが、資産運用、相続・遺言信託、保険、ローンなどについてのご相談にお応えします。各種セミナー（参加無料）も開催しております。

	上 通	学園大通
場 所	上通支店1階	学園大通支店内
電話番号	096-325-5885	096-342-5050
営業時間	平日10:00～18:00 土・日曜日、祝日10:00～17:00	
休業日	12月31日～1月3日、5月3日～5月5日	

個人総合コンサルティングプラザ

住宅ローン等のご相談・お申込の他、将来に向けた資産形成のご相談をお受け付けいたします。

	場所	電話番号	営業時間	定休日
砂取	砂取出張所内	096-383-7285	平日 10:00～ 18:00	毎週水曜日、 祝日、
流通団地	流通団地支店内	096-370-3555		
光の森	光の森支店2階	096-233-4355		
八代田中町	田中町支店内	0965-35-7686	土・日曜日 10:00～ 17:00	12月31日～ 1月3日
荒尾緑ヶ丘	荒尾中央支店内	0968-66-3311		
福岡	福岡支店内	092-741-8577		

※「八代田中町」は平成26年12月8日より八代支店内に「個人総合コンサルティングプラザ八代」として移転（電話番号は変更ございません）。

肥後銀行ビジネスローンプラザ

事業を営まれているお客様の事業資金のご相談やお借入れのお申し込み受付・各種情報のご提供を行う専門窓口です。皆様の事業とともに、夢と笑顔を広げるお手伝いをさせていただきます。

場 所	南熊本支店内
電話番号	096-361-0777
営業時間	平日 9:00～17:00
定休日	毎週土・日曜日、祝日、12月31日～1月3日

ダイレクトバンキングサービス

パソコンや携帯電話などで、「お振込み」「お振替え」「残高照会」などができるサービスをご提供しております。また、投資信託のご購入、ご解約申込みなどの手続きができる「インターネット投資信託」では、ご自宅にしながら、ご投資状況の確認をはじめ各種お取引ができるなど、窓口営業時間外でもご利用いただけます。



地域経済活性化への取り組み

◎ 地域振興・地場産業活性化のために

地場企業の多様な経営ニーズや事業課題にお応えするために、事業開発部にて各種相談業務やビジネスマッチング等による販路拡大支援、セミナー開催による情報提供等に積極的に取り組んでおります。

また、上海駐在員事務所等を活用し海外進出支援、海外企業との取引支援および海外情報の提供を行っております。

ビジネスマッチング

ビジネスマッチング機会提供の場として、地元熊本や海外(上海)で各種商談会を開催。誘致企業や大学、行政機関との連携による販路拡大のサポートや業界情報の提供を行っております。

また、お客様が抱える事業課題に対応したソリューションを有する企業、専門機関と連携し、お客様の経営品質向上に資するコンサルティング型支援に取り組んでおります。



くまもと“食”の
商談会



くまもと産業ビジネス
フェア



日中ものづくり商談会
@上海

農業分野への取り組み

熊本県基幹産業である農業の振興・活性化に貢献するため、農業経営者に対する運転資金・設備資金等の幅広い資金ニーズにお応えする体制を整えております。



アグリビジネスセミナー

また、販路拡大や新事業展開など農業経営者が抱える事業課題に対する総合的な支援を行っております。その一環として、外部講師による「アグリビジネスセミナー」や商談会などの定期開催、「肥後6次産業化ファンド」を通じた6次産業化の支援（農商工連携によるビジネス拡大等のサポート）などを行っております。

観光分野への取り組み

熊本ならではの自然・文化・交通・農業などの観光インフラを、県内の産業活性化に繋げるために、事業者の皆様に対する資金調達支援をはじめ、様々な経営課題解決の支援を行っております。



観光経営力パワーアップ講座

また、平成25年10月から東海大学九州キャンパスと連携し「観光経営力パワーアップ講座」を継続して開講するなど、観光業の皆様の経営力強化、担い手育成を支援しております。

金融円滑化への取り組み

当行は、企業理念の実現に向け、「お客様を有難いと思う心」「話す前にお聞きすること」「可能な限りお客様の実情に合わせようとする努力」「明快なクイックレスポンス」「お断りや条件交渉はそのわけを迅速・明確・丁寧に」という「融資取引に係る5つの大切」を策定し、これまで取り組んでまいりました。今後も「金融の円滑化に関する基本方針」に基づき、真摯かつ丁寧な取り組みを継続してまいります。

詳しくは、当行ホームページをご覧ください。

<http://www.higobank.co.jp/>

地域貢献への取り組み

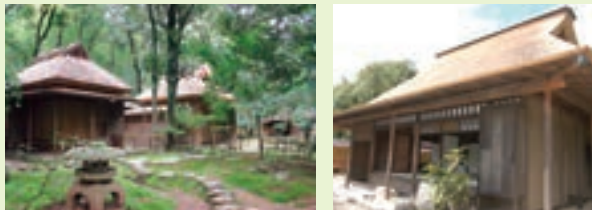
当行は、「企業倫理を遵守し、豊かな地域社会の実現に積極的に貢献する」という企業理念のもと、より豊かで美しい故郷・

文化

熊本県の歴史・文化を守り、次世代に継承するため、「永青文庫常設展示振興基金」や「熊本市文化財保存修復基金」への寄付など、様々な支援を行っております。



熊本県立美術館に併設した「細川コレクション永青文庫展示室」(左) 永青文庫常設展示振興基金による初の修復事業として復元された「細川忠利所用頭形 兜」(右)



熊本市文化財保存修復基金により修復された、細川家菩提寺・泰勝寺茶室「仰松軒」(左)と水前寺成趣園「古今伝授の間」(右)

社会福祉

社会貢献活動の一環として、点字カレンダーを社会福祉法人視覚障がい者福祉協会に寄贈しています。昨年も、平成26年版500部を寄贈しました。



美術展への協賛

平成25年7月から平成25年8月に開催された「レオナルド・フジタとパリ展」に協賛いたしました。

開催期間中の来場者は約2万5千人となりました。



スポーツ振興

地域スポーツの発展に向けた取り組みとして、熊本県下最大の駅伝大会「都市対抗熊日駅伝」に平成19年2月の第33回大会より特別協賛しています。



熊本づくりのため、「文化」「スポーツ」「環境」などの分野においても、様々な取り組みを行っております。

地下水涵養活動

地下水保全及び耕作放棄地解消を目的に、平成23年2月に公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金と阿蘇市との間で「農業・水田湛水事業に関する協定」を締結しました。「阿蘇水掛の棚田」と命名した棚田において、例年5月に当行グループ役職員等による田植えを行い、10月に稲刈りを行っております。



肥後の水とみどりの愛護賞

昭和62年に「ふるさとの貴重な財産ともいふべき地下水を枯渇と汚染から守ろう」と提唱し、熊本県、熊本日日新聞社との共催で、水資源保全活動に取り組んでいる団体・個人の方を顕彰する「肥後の水資源愛護賞（現：肥後の水とみどりの愛護賞）」を創設いたしました。この活動は、平成4年設立の財団法人肥後の水資源愛護基金に引き継がれ、環境問題が一段と緑化推進に注力すべき段階を迎えたことから、平成20年9月に「財団法人肥後の水とみどりの愛護基金」に名称を変更し、平成22年11月より公益財団法人として新たにスタートいたしました。

平成26年度までで、延べ297団体、15個人の皆さまを表彰いたしました。



水源涵養林の保全・育成

当行は、平成5年に緑化資源保護のための「法人の森林制度」に参加し、平成13年からは、財団法人肥後の水資源愛護基金（現、公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金）とともに植樹活動を開始しました。さらに、平成18年2月に、阿蘇市小倉地区の森林52haを購入し、「阿蘇大観の森」と命名、水源涵養林の保全・育成に積極的に取り組んでいます。



この活動は、「日本の森を守る地方銀行有志の会」においても、先進的な取り組み事例として注目されています。

「わたしのまちの〇と×・熊本」環境フォトコンテスト

「まずは自分たちのまちに興味を持ち、足元から見直し、社会的行動につなげる」ための官民学一体となった運動で、平成19年度より、当行が事務局となり開催しています。熊本県内の「美しい、いつまでも残したいと思う風景〇」と「環境によくない、今すぐ変えたいと思う風景×」の写真を対比してコメントを付す形式のこのフォトコンテストは、学校児童・生徒を中心に定着してきており、第8回となる平成26年度は、2,256点の応募がありました。



単体財務諸表 (第144期中)

中間貸借対照表 (平成26年9月30日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
現金預け金	167,786	預金	3,751,709
コールローン	6,317	譲渡性預金	279,140
買入金銭債権	835	債券貸借取引受入担保金	18,470
特定取引資産	1,563	特定取引負債	453
金銭の信託	5,035	借入金	42,189
有価証券	1,577,408	外国為替	32
貸出金	2,615,828	その他負債	31,199
外国為替	5,502	退職給付引当金	8,498
その他資産	7,940	偶発損失引当金	386
その他の資産	7,940	睡眠預金払戻損失引当金	691
有形固定資産	50,647	繰延税金負債	9,374
無形固定資産	6,200	再評価に係る繰延税金負債	5,440
前払年金費用	3,717	支払承諾	9,599
支払承諾見返	9,599	負債の部合計	4,157,185
貸倒引当金	△19,218	純 資 産 の 部	
		資本金	18,128
		資本剰余金	8,133
		資本準備金	8,133
		利益剰余金	211,696
		利益準備金	18,128
		その他利益剰余金	193,567
		不動産圧縮積立金	528
		別途積立金	181,387
		繰越利益剰余金	11,652
		自己株式	△128
		株主資本合計	237,829
		その他有価証券評価差額金	43,011
		繰延ヘッジ損益	△4,481
		土地再評価差額金	5,619
		評価・換算差額等合計	44,149
		純資産の部合計	281,979
資産の部合計	4,439,165	負債及び純資産の部合計	4,439,165

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書 (平成26年4月 1日から
平成26年9月30日まで)

(単位：百万円)

経常収益	36,040
資金運用収益	26,557
(うち貸出金利息)	(17,916)
(うち有価証券利息配当金)	(8,333)
役員取引等収益	5,667
特定取引収益	19
その他業務収益	1,422
その他経常収益	2,373
経常費用	24,997
資金調達費用	2,750
(うち預金利息)	(804)
役員取引等費用	2,127
その他業務費用	208
営業経費	19,422
その他経常費用	489
経常利益	11,043
特別利益	49
特別損失	43
税引前中間純利益	11,050
法人税、住民税及び事業税	3,181
法人税等調整額	623
法人税等合計	3,805
中間純利益	7,244

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書

(平成26年4月 1日から
平成26年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益 準備金	利益剰余金 その他利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本 準備金	資本剰余金 合計		不動産圧縮 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	18,128	8,133	8,133	18,128	528	172,387	14,876	205,920
会計方針の変更による 累積的影響額							△337	△337
会計方針の変更を反映した 当期首残高	18,128	8,133	8,133	18,128	528	172,387	14,539	205,583
当中間期変動額								
別途積立金の積立						9,000	△9,000	
剰余金の配当							△1,152	△1,152
中間純利益							7,244	7,244
自己株式の取得								
土地再評価差額金の取崩							20	20
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）								
当中間期変動額合計	—	—	—	—	—	9,000	△2,887	6,112
当中間期末残高	18,128	8,133	8,133	18,128	528	181,387	11,652	211,696

	株主資本		評価・換算差額等				純資 産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△119	232,063	38,796	△3,390	5,639	41,045	273,109
会計方針の変更による 累積的影響額		△337					△337
会計方針の変更を反映した 当期首残高	△119	231,726	38,796	△3,390	5,639	41,045	272,771
当中間期変動額							
別途積立金の積立							
剰余金の配当		△1,152					△1,152
中間純利益		7,244					7,244
自己株式の取得	△9	△9					△9
土地再評価差額金の取崩		20					20
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）			4,215	△1,091	△20	3,104	3,104
当中間期変動額合計	△9	6,103	4,215	△1,091	△20	3,104	9,207
当中間期末残高	△128	237,829	43,011	△4,481	5,619	44,149	281,979

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表（第144期中）

中間連結貸借対照表（平成26年9月30日現在）（単位：百万円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
現金預け金	168,198	預金	3,746,679
コールローン及び買入手形	6,317	譲渡性預金	279,140
買入金銭債権	835	債券貸借取引受入担保金	18,470
特定取引資産	1,563	特定取引負債	453
金銭の信託	5,035	借入金	55,439
有価証券	1,573,767	外国為替	32
貸出金	2,597,916	その他負債	36,492
外国為替	5,502	退職給付に係る負債	8,747
リース債権及びリース投資資産	22,777	偶発損失引当金	386
その他資産	26,509	睡眠預金払戻損失引当金	691
有形固定資産	50,622	繰延税金負債	8,339
無形固定資産	6,491	再評価に係る繰延税金負債	5,440
退職給付に係る資産	549	支払承諾	9,599
繰延税金資産	458	負債の部合計	4,169,914
支払承諾見返	9,599	純 資 産 の 部	
貸倒引当金	△20,542	資本金	18,128
		資本剰余金	8,133
		利益剰余金	215,406
		自己株式	△128
		株主資本合計	241,540
		その他有価証券評価差額金	43,109
		繰延ヘッジ損益	△4,481
		土地再評価差額金	5,619
		退職給付に係る調整累計額	△2,010
		その他の包括利益累計額合計	42,236
		少数株主持分	1,913
		純資産の部合計	285,689
資産の部合計	4,455,603	負債及び純資産の部合計	4,455,603

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書（平成26年4月 1日から平成26年9月30日まで）（単位：百万円）

経常収益	43,772
資金運用収益	26,595
（うち貸出金利息）	(17,952)
（うち有価証券利息配当金）	(8,335)
役務取引等収益	5,621
特定取引収益	19
その他業務収益	9,137
その他経常収益	2,398
経常費用	32,239
資金調達費用	2,800
（うち預金利息）	(803)
役務取引等費用	1,886
その他業務費用	6,623
営業経費	20,287
その他経常費用	641
経常利益	11,533
特別利益	151
固定資産処分益	49
負ののれん発生益	101
特別損失	43
固定資産処分損	3
減損損失	39
税金等調整前中間純利益	11,642
法人税、住民税及び事業税	3,405
法人税等調整額	609
法人税等合計	4,015
少数株主損益調整前中間純利益	7,626
少数株主利益	55
中間純利益	7,571

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結包括利益計算書（平成26年4月 1日から平成26年9月30日まで）（単位：百万円）

少数株主損益調整前中間純利益	7,626
その他の包括利益	3,272
その他有価証券評価差額金	4,263
繰延ヘッジ損益	△1,091
退職給付に係る調整額	100
中間包括利益	10,899
親会社株主に係る中間包括利益	10,839
少数株主に係る中間包括利益	59

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書 (平成26年4月 1日から
平成26年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	18,128	8,133	209,304	△119	235,447
会計方針の変更による累積的影響額			△337		△337
会計方針の変更を反映した当期首残高	18,128	8,133	208,967	△119	235,109
当中間期変動額					
剰余金の配当			△1,152		△1,152
中間純利益			7,571		7,571
自己株式の取得				△9	△9
土地再評価差額金の取崩			20		20
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)					
当中間期変動額合計	—	—	6,439	△9	6,430
当中間期末残高	18,128	8,133	215,406	△128	241,540

	その他の包括利益累計額					少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	38,849	△3,390	5,639	△2,110	38,988	3,372	277,808
会計方針の変更による累積的影響額							△337
会計方針の変更を反映した当期首残高	38,849	△3,390	5,639	△2,110	38,988	3,372	277,470
当中間期変動額							
剰余金の配当							△1,152
中間純利益							7,571
自己株式の取得							△9
土地再評価差額金の取崩							20
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	4,259	△1,091	△20	100	3,247	△1,459	1,788
当中間期変動額合計	4,259	△1,091	△20	100	3,247	△1,459	8,218
当中間期末残高	43,109	△4,481	5,619	△2,010	42,236	1,913	285,689

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (平成26年4月 1日から
平成26年9月30日まで) (単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	△78,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,318
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,158
現金及び現金同等物に係る換算差額	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△74,875
現金及び現金同等物の期首残高	225,862
現金及び現金同等物の中間期末残高	150,987

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

肥後銀行の関係会社等

肥後銀行グループは、肥後銀行、連結子会社7社で構成され、銀行業務を中心に金融サービスにかかる事業を行っております。

会 社 名	事 業 内 容
肥 銀 リ ー ス 株 式 会 社	リース・貸付業務
肥 銀 カ ー ド 株 式 会 社	クレジットカード及び信用保証業務
株式会社肥銀コンピュータサービス	計算受託及びソフト開発等の業務
肥 銀 キ ャ ピ タ ル 株 式 会 社	有価証券の取得・保有・売却及び企業診断業務
株 式 会 社 肥 銀 用 度 セ ン タ ー	文書等の整理集配送及び物品管理業務
肥 銀 ビ ジ ネ ス 開 発 株 式 会 社	労働者派遣及び有料職業紹介業務
肥 銀 事 務 サ ー ビ ス 株 式 会 社	後方事務等業務処理受託業務

当行の概要 (平成26年9月30日現在)

- 創 立 大正14年7月25日
- 資 本 金 181億2千8百万円
- 本 店 熊本市中央区紺屋町一丁目13番地5
- 店 舗 数 122 (このほか海外駐在員事務所1)
- 従 業 員 2,305名
- 役 員
 - 代表取締役頭取 甲 斐 隆 博
 - 代表取締役専務執行役員 下 山 史一郎
 - 代表取締役専務執行役員 上 野 豊 徳
 - 取締役常務執行役員 岡 崎 雄 介
 - 取締役常務執行役員 最 上 剛
 - 取締役常務執行役員 西 本 純 一
 - 取締役上席執行役員 田 島 功
 - 取締役上席執行役員 土 山 哲 司
 - 社 外 取 締 役 益 戸 正 樹
 - 常 任 監 査 役 江 口 正 明
 - 常 勤 監 査 役 岩 本 義 弘
 - 社 外 監 査 役 前 田 晃 伸
 - 社 外 監 査 役 眞 部 利 應
 - 社 外 監 査 役 片 岡 義 広

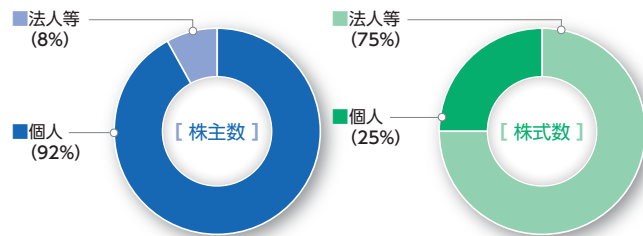
株式のご案内 (平成26年9月30日現在)

株式の状況

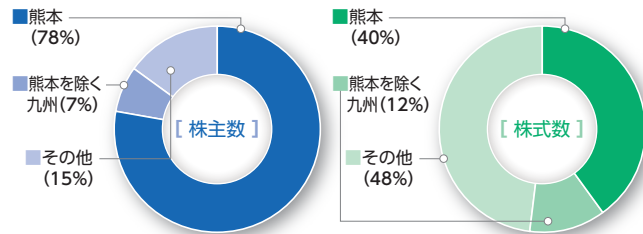
- 発行済株式の総数 230,755千株
- 株主数 9,262名
- 大株主 上位10名

株主名	持株数 (千株)	持株比率
明治安田生命保険相互会社	11,621	5.03%
宝興業株式会社	8,258	3.57%
肥後銀行従業員持株会	7,583	3.28%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	7,512	3.25%
株式会社みずほ銀行	6,869	2.97%
株式会社福岡銀行	5,864	2.54%
第一生命保険株式会社	5,371	2.32%
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,854	1.67%
株式会社十八銀行	3,433	1.48%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,391	1.46%

所有者別構成比



地域別分布



株主メモ

事業年度	… 毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	… 3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	… 毎事業年度が終了した日の翌日から3か月以内に開催
単元株式数	… 1,000株
株主名簿管理人	… 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	… 電子公告（ http://www.higobank.co.jp/ ） ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、熊本市において発行する熊本日日新聞および日本経済新聞に掲載いたします。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 （特別口座の場合）
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 （土・日・祝日を除く9:00～17:00）
各種手続お取扱店 （住所変更、株主 配当金受取り 方法の変更等）	お取引の証券会社等 になります。	みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所 プラネットプース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできませんので、ご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店（みずほ証券株式会社では取次のみとなります）	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほ証券株式会社で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行株式会社が指定する口座に送金していただく必要があります。 また、特別口座では、配当金の受取方法につき「株式数比例配分方式」を選択することができず、少額投資非課税制度口座（NISA口座）での非課税適用を受けることができません。

上場株式配当等の支払に関する通知書について

支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

IRカレンダー

4月	
5月	● 決算発表
6月	● 定時株主総会 ● ミニディスクロージャー誌
7月	● ディスクロージャー誌 ● 第1四半期決算発表
8月	
9月	
10月	● アニュアルレポート
11月	● 第2四半期決算発表
12月	● 中間ミニディスクロージャー誌
1月	● 中間ディスクロージャー誌 ● 第3四半期決算発表
2月	
3月	

ホームページのご案内



肥後銀行

検索

<http://www.higobank.co.jp/>



株式会社 肥後銀行

〒860-8615 熊本県熊本市中央区紺屋町一丁目13番地5

TEL 096(325)2111

<http://www.higobank.co.jp/>



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。

